

令和7年度 高等学校「英語」言語習得の理論を生かした授業実践研修 実施要項

- 1 目的 第二言語習得にかかる知見から、英語学習を効果的に進める方法を学ぶことにより、授業力の向上を図る。
- 2 対象 高等学校及び支援学校（高等部）の英語担当教員

募集人数 30名

- 3 日時等 4月1日以降の変更部分に網掛けをしています。

回	日時	主題等	講師等
1	12月12日（金） 14:00～17:00	第二言語習得にかかる理論（SLA）を生かした授業実践 〔講義・演習・協議〕	早稲田大学 准教授 鈴木 祐一 大阪府教育庁 指導主事等 大阪府教育センター 指導主事等

- 4 会場 大阪府教育センター（大阪市住吉区苅田4丁目13番23号 電話06-6692-1882）

Osaka Metro 御堂筋線「あびこ」駅下車、東北東へ約700m
JR 阪和線「我孫子町」駅下車、東へ約1,400m
近鉄南大阪線「矢田」駅下車、西南西へ約1,700m

- 5 その他 （1）受付は30分前から。
（2）来所時には、所属名・名前の入った名札を着用すること。
（3）大阪府教育センターに、自家用自動車・バイク等の駐車はできません。
（4）（受講決定後～当日）Plantで、事前連絡や課題等がないか確認すること。
- 6 担当室 高等学校教育推進室、高等学校課

個別募集

令和7年度 高等学校「英語」言語習得の理論を生かした授業実践研修 シラバス

1 目的

第二言語習得にかかる知見から、英語学習を効果的に進める方法を学ぶことにより、授業力の向上を図る。

2 大阪府教員等育成指標の対象項目

OSAKA 教職 スタンダード	共通の指標														
	Ⅰ			Ⅱ			Ⅲ			Ⅳ			Ⅴ		
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
第4期															
第3期															
第2期										○	○	○			
第1期										○	○	○			
第0期															

3 研修の主題とねらい等

回	主題	ねらい	内容	準備物・事前課題
1	第二言語習得にかかる理論(SLA)を生かした授業実践	第二言語習得にかかる理論(SLA)を生かして、英語の到達段階に応じた指導法を理解するとともに、今後の授業づくりの見通しを持つ。	・講義を通して、第二言語習得にかかる理論を生かした英語の指導法について学ぶ。 ・演習、協議を通して、英語の到達段階に応じた指導法について考える。	